

第3学年 国語科学習指導案

1 単元名 ○○のひみつを教えます！

「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」(光村図書 3年下)

2 単元設定の理由

本学級の子供は、新しいことへの興味・関心が高く、探究心も非常に強い。何気ないやり取りの中で「もっと知りたい」と思ったことは、その場ですぐに本やタブレットを使って調べたり、家で調べて自主学習ノートにまとめたりする姿が見られる。また、「調べて知ったことをみんなに伝えたい」という意欲も高く、友達と楽しそうに意見を交わし合う様子も見られる。そこで、これらの意欲をいかしつつ、目的を意識して、中心となる語や文を見付けることや、内容の中心を明確にし、内容のまとまりや相互の関係に注意して文章の構成を考えること等を学ぶ場を体験することは、今後の子供の言語生活をより豊かにすると考え、本単元を設定した。6月に行った「文様」「こまを楽しむ」の学習では、「自分だけのお気に入りランキングをつくろう」というめあてのもと、自分が選んだ事柄について本やインターネットを使って調べ、MetaMoji ClassRoomを活用して説明の文を添えたランキングを作成し、友達と紹介し合う活動に取り組んだ。その中で子供たちは、「初め」「中」「終わり」といったまとまりや段落を意識して文章全体を見渡し、内容を捉えたり、「中」の事例の述べ方に注意して読んだりすることを学んでいる。そこで本単元では、事例の選び方やその順序性に着目して読んだり、読んで見付けた説明の仕方の工夫をいかして分かりやすい文章を書いたりする力を身に付けてほしいと考える。

本単元は、身近な食材の加工方法やおいしく食べる工夫について調べて「食べ物ひみつカード」にまとめ、友達と紹介し合うことを主たる言語活動とする。カードの1枚目は、MetaMoji ClassRoom上に、説明する順序を考えながら写真を配置して作成することにより、何度も試行錯誤しながら、事例を精選したり示す順序を工夫したりすることができる。さらに、短い言葉で中心となる文を書いておくことで、説明の文章を書くときの構成を考える手がかりにすることもできる。また、カードの2枚目には、1枚目にまとめた事例の順序や中心となる文に、つなぐ言葉や詳しい説明を足しながら説明の文を書くことで、文章を書くことへの抵抗を和らげることができる。そして、この2枚を合わせて「食べ物ひみつカード」とし、友達と紹介し合うことで、読み手としても書き手としても中心となる文やそれらの構成を意識しながら学習を進めていくことにも適している言語活動だと考える。

本単元は、例の書かれ方に着目して教科書教材「すがたをかえる大豆」を読み、説明の仕方の工夫を見付け、「食べ物のひみつを教えます」ではそれらを生かして、並行読書をする中で自身が興味をもった食材について調べて説明する文章を書くという「読むこと」と「書くこと」の複合単元である。食べ物は、児童にとって身近な話題ではあるが、加工された食品の原料は意外と知らない物が多い。加工食品に関する児童用の図書資料も数多く出版されているため、調べ学習も進めやすいだろう。また、料理に関する語彙の拡充や、食育の観点からも意義をもつ題材といえる。

第1次では、教師が作成した「食べ物ひみつカード」の説明を聞き、加工食品に対する興味・関心を高めつつ、自身が興味をもった食べ物について、「食べ物ひみつカード」にまとめ、友達と伝え合おうとする目的をもつ。第2次では、「すがたをかえる大豆」を読み進めながら、大豆をおいしく食べる工夫や、

説明の仕方の工夫をそれぞれ「ひみつカード」にまとめる中で、筆者の考えを読み取ったり、中心となる語や文を確認しつつ、それらを明確にして文章の構成を考えたりするモデル学習に取り組む。第3次では、第2次で学習したことをいかして個別学習に取り組み、自身が興味をもった食べ物について「食べ物ひみつカード」にまとめる。第4次では、完成した「食べ物ひみつカード」を交流し、学習を振り返る。

3 単元の目標

(1) 子供の活動目標

いろいろな食べ物のおいしく食べる工夫を「食べ物のひみつカード」にまとめて伝え合おう

(2) 指導目標

- 比較や分類の仕方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができるようとする。

「知識及び技能」(2)イ

- 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるようとする。 「思考力、判断力、表現力等」 B(1)イ

- 目的を意識して、中心となる語や文を見付けることができるようとする。

「思考力、判断力、表現力等」 C(1)ウ

- 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができるようとする。 「知識及び技能」(3)オ

- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合うとする態度を育てる。 「学びに向かう力、人間性等」

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 比較や分類の仕方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。((2)イ)</p> <p>② 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。((3)オ)</p>	<p>① 「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ)</p> <p>② 「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けている。(C(1)ウ)</p>	<p>① 目的を意識して、粘り強く中心となる語や文を見付けており、それらを明確にして文章の構成を考えたりし、学習の見通しをもって筆者の説明の工夫をいかした文章を書こうとしている。</p>

5 指導計画

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	<p>【第1次】</p> <p>○教師が作成した「食べ物ひみつカード」の説明を聞き、加工食品に対する興味・関心を高めつつ、自身が興味をもった食べ物について「食べ物ひみつカード」にまとめ、友達と伝え合おうとする目的や学習の見通しをもつ。</p>	<p>◇加工食品に関する資料(実物、写真、本等)を用意し、自由に手にしたり閲覧したりできるよう環境整備をする。</p> <p>◇並行読書をしながら、自身が興味をもった食べ物の食べ方の工夫についての事例を写真に撮って集めることができるよう、タブレット内に保存用の画像フォルダやMetaMoji ClassRoomのワークシートを用意しておく。</p>	
2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6	<p>【第2次】</p> <p>○「すがたをかえる大豆」を読み進めながら、大豆をおいしく食べる工夫や説明の仕方の工夫を「ひみつカード」にまとめることでモデル学習に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材文を読み、段落や出てくる加工食品を確かめる。 文章の組み立てを「初め」「中」「終わり」に分け、学習の手引き①に大まかな内容を整理する。 「中」の事例を学習の手引き②に整理する。 説明の仕方の工夫を見付け、学習の手引き③にまとめること。 筆者の説明の工夫をもとに、自分ならどのように組み立てるか考え、学習の手引き④に整理する。 	<p>◇説明文の構成が想起しやすいように、「こまを楽しむ」などの板書を提示する。</p> <p>◇「食べ物ひみつカード」と「説明カード」を用意し、それぞれの工夫を「ひみつ」として整理することができるようとする。</p> <p>◇「ひみつカード」に書く内容に合わせて紙媒体のものとMetaMoji ClassRoomとを用意しておく。</p> <p>◇説明の工夫の観点として、「文章や段落の組み立て」「言葉の使い方」「写真の使い方」を意識できるように、文をつなぐ言葉や写真に着目できるような手引きや発問の工夫をする。</p> <p>◇説明の工夫を個別学習にもいかせるように、大豆の説明の順序を自分なりに考える活動を取り入れる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔思・判・表②〕</p> <p><u>学習の手引き①</u></p> <p><u>ふりかえりカード</u></p> <p>内容の確認</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〔思・判・表②〕</p> <p><u>学習の手引き②</u></p> <p><u>ふりかえりカード</u></p> <p>内容の確認</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〔思・判・表②〕</p> <p><u>学習の手引き③</u></p> <p><u>ふりかえりカード</u></p> <p>内容の確認</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〔思・判・表②〕</p> <p><u>学習の手引き④</u></p> <p><u>ふりかえりカード</u></p> <p>内容の確認</p> </div>

7 (本時) ・ 8 ・ 9 ・ 10	<p>【第3次】</p> <p>○第2次で学習したことをいかして個別学習に取り組み、自分が興味をもった食べ物について「食べ物ひみつカード」にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ食べ物について集めた情報から「食べ物ひみつカード」での説明に用いる事例を精選し、説明の順序を考えながら学習の手引き⑤に整理する。(本時) ・おいしく食べる工夫について、説明する文章を学習の手引き⑥に書く。 ・説明の文章について、学んだことを生かしながら推敲する。 ・学習の手引き⑤⑥を1枚にまとめ、仕上げて紹介の練習をする。 	<p>◇写真を自由に動かしたり友達の説明の順序を参考にしたりすることができるよう、MetaMoji ClassRoomに学習の手引き⑤を作成しておく。</p> <p>◇モデル学習を想起しながら、個別学習ができるよう、学習の手引き⑤は、学習の手引き②と似たレイアウトにする。</p> <p>◇内容の中心や文章の構成を意識して説明を書いたり推敲したりできるよう、学習の手引き③や教師の「食べ物ひみつカード」を1人1人の手元で見られるようにしておく。</p>	<p>〔知・技①〕 <u>観察</u> <u>ふりかえりカード</u> 振り返り内容の確認</p> <p>〔思・判・表①〕 <u>学習の手引き⑤</u> <u>ふりかえりカード</u> 内容の確認</p> <p>〔主①〕 <u>学習の手引き⑥</u> <u>ふりかえりカード</u> 内容の確認</p>
11 ・ 12	<p>【第4次】</p> <p>○完成した「食べ物ひみつカード」を交流し、学習を振り返る。</p>	<p>◇交流後、友達の説明を聞いて興味をもった加工食品に関する資料を自由に手にしたり閲覧したりできるよう環境整備をする。</p>	<p>〔知・技②〕 <u>観察</u> <u>ふりかえりカード</u> 内容の確認</p>

6 本時

(1) 目標

①子供の活動目標

自分がけの「食べ物ひみつカード」をつくろう。

②指導目標

選んだ食べ物について集めた情報から説明に用いる事例を精選し、内容のまとめで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、事例の順序を考える活動を通して、「食べ物ひみつカード」を作成することができるようとする。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	具体的評価規準	評価方法
5分	1 前時の活動を想起し、本時のめあてを確認する。	1 前時の学習の手引きと振り返りを確認するよう促し、これまで学習してきた説明の工夫が、本時の活動にもいかせることを共通理解する。		

自分だけの「食べ物ひみつカード」をつくろう。	
10分	<p>2 選んだ食べ物のおいしく食べる工夫について、説明に用いる事例を精選し、順序を考えながら「カード」に整理する。</p> <p>2 写真を自由に動かしたり友達の説明の順序を参考にしたりすることができるよう、MetaMoji ClassRoomに学習の手引き⑤を用意する。</p> <p>○事例の順序を考えやすいように、教師の「食べ物ひみつカード」や学習の手引き②③④を提示する。</p>
15分	<p>3 並べた事例について紹介し合い、精選の仕方と順序の工夫を確認する。</p> <p>3 事例の精選の仕方と順序の工夫に着目できるよう、発表内容を整理しながら板書する。</p> <p>○事例の精選</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんながよく知っているもの ・工夫の違いが分かるもの ・初めて知って紹介したいもの <p>○事例の順序の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫が簡単なものから ・原型に近いものから ・身近な食べ方から
15分	<p>4 本時の学習をいかし、「食べ物ひみつカード」を作成するともに、学習の振り返りを書く。</p> <p>4 友達の工夫を参考に、自分の事例を見直したり修正したりするよう指示する。</p> <p>なお、順序が確定したら食品名や工夫について書くように指示する。</p>

(3) 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、事例の順序を考え、自分の思いや考えがよりよく伝わるように工夫しながら「食べ物ひみつカード」を作成している。
「おおむね満足できる」状況にするための手立て	事例の特徴と一緒に考えたり、どのような観点から順序を考えるかが明確になるような声かけをしたりする。